

MSDS 材料安全データシート  
ユリン レスキュー B114

改訂:2006年3月31日

セクション 1: ケミカル製品と会社の情報

製造元: プロフェッショナル ケミカルズ コーポレーション  
325 南プライス ロード  
チャンドラー、アリゾナ USA 85224

連絡先: EHS Manager  
TEL: 1-480-899-7000  
FAX: 1-480-707-5661  
E-Mail: [jphilips@prochem.com](mailto:jphilips@prochem.com)  
Web [www.prochem.com](http://www.prochem.com)

-----  
製品名: ユリン レスキュー  
改訂月日: 2006年3月31日  
MSDS 番号: B114  
緊急連絡先: (800)535-5053

セクション 2: 成分、内容物データ

含有物

| CAS #   | ケミカル名  |
|---------|--|
| 7722841 | ハイドロゲン ペロキサイド (過酸化水素) 水溶液、20%以上 40%以下ハイドロゲン<br>ペロキサイド (必要に応じて安定化されたもの) |

セクション 3: 危険の確認

接触ルート: 目、皮膚、吸引、誤飲

対象臓器: 目、皮膚

吸引した場合: 鼻と喉の炎症、咳

皮膚に触れた場合: 炎症と接触部分の一時的な白色化、火傷の危険

目に入った場合: 激しい炎症、涙目、赤目、まぶたの腫れ、重大または永久的な目の障害の恐れ

誤飲した場合: 顔面は青ざめチアノーゼを起こします。ショックを伴い、激しい炎症、胃腸の火傷と胃壁に穴が開く危険があります。口や鼻から多量に液が混入した場合は、窒息の可能性。喉の膨張と窒息の危険、胃の膨張、げっぷ、悪心、出血性嘔吐、咳き込み、吸引したことからのケミカル肺炎の危険があります。

HMIS III - 危険性等級(scale 0-4) : 健康 2 可燃性 0 物理的危険性 2

## ユリン レスキュー B114

### セクション 4: 緊急時の処置方法

**吸引した場合:** 汚染の元を片付けてください。澄んだ空気のところに出てください。呼吸器に炎症が残るようであれば、医師の診察を受けてください。

**皮膚に触れた場合:** 汚れた靴、ソックス、衣類を脱いでください。水道の水で触れた部分を十分に洗浄してください。炎症が残るようであれば、医師の診察を受けてください。

**目に入った場合:** 直ぐにきれいな水でまぶたを開けた状態で 15 分以上洗浄してください。医師の診察を受けてください。

**誤飲した場合:** どんな場合でも直ぐに医師の診断を受けさせてください。病院に連れて行ってください。

**全般的な忠告:** この製品が目や顔に噴きかかった時は、目を先に手当してください。汚れた衣類を裸火又は白熱発光体の傍で乾かさないうでください。汚れた衣類を水に浸してから、乾かしてください。

### セクション 5: 消火方法

**引火点:** >100°C

**引火点測定方法:** Closed Cup

**消火の手順:** 携帯用呼吸器具を装備し防護服を着用してください。火災のまわりを取り囲むのに適した、標準的な消火剤を使ってください。

### セクション 6: 事故時の廃棄処分方法

**予防措置:** セクション 5 と 8 に記載されている保護の方法を見てください。事故の場所を隔離してください。この製品に合わない材料や製品から分断させてください。(セクション 10 参照) もしそうするのが安全であるなら、人に触れない状態で、こぼれを止めてください。可燃性の材料と接触した場合は、水で薄めることで製品が乾いてしまうのを避けてください。

**洗浄方法:** 全ての不要な従業員を帰宅させてください。発火の可能性のあるものを除去してください。材料の更なるこぼれ、吐出を止めてください。材料が下水溝や水路へ行かない様にしてください。こぼれた材料を収納し砂や土砂で、吸引させてください。おがくず等の爆発性の材料で回収しないでください。回収した材料の破棄に関し、その地域の廃棄処理規制に合うか、専門家に相談してください。

**National Transportation Safety Board (NTSB) 及び Federal Aviation Administration (FAA) は、次の情報が提供されることを要求しています。**

過酸化水素に晒された可燃性の物質は、全ての過酸化水素を除去する為に、即座に多量に水に浸され、リンスされなければなりません。紙、繊維、木綿、皮、木、又は他の可燃性の有機物上で乾いて残った過酸化水素は、(乾燥中に蒸発して濃縮され) その材料を発火せる原因となり、火災につながる危険があります。

## ユリン レスキュー B114

### セクション 7: 取扱及び保管の注意

**取り扱い:** 充分換気の良いところで作業してください。熱源の傍から離れてください。化学的に合わない製品から離してください。全ての有機物から離してください。化学的に材質が合う容器及び装置を使用してください。残った製品を容器に決して戻さないでください。事故の際に必要な十分な量の水が確保できる事を確認してください。過酸化水素水に使われる装置と容器は、過酸化水素水専用を使用してください。

**保管:** 子供の手の届かない所に保管してください。涼しい乾燥した換気の良い所に保管し、熱源及び化学的に合わない製品から離してください。(セクション10参照) 可燃性の材料から離してください。安全バルブ又は弁付きの容器に保管してください。元々の梱包で密閉して保管してください。常に状況と容器の温度を確認してください。

**他の注意:** 従業員にこの製品の危険性を警告してください。セクション8の防護方法に従ってください。この製品を循環の中、閉めたバルブの間、弁なしの容器内等に滞留させないでください。作業用、掃除用の布は、水で十分にリンスされるべきで、防火用の容器に収納されるべきです。皮膚や目に触れない様に。蒸気を吸わない様に。作業後十分に手を洗ってください。

### セクション 8: 暴露防止方法

**技術的コントロール:** 限定された使用には通常の室内換気で充分です。熱と炎から離してください。

**保護器具:** HMIS PP, B、安全メガネ、手袋

### セクション 9: 物理的及び化学的特性

**外観:** 透明

**物理的状态:** 液体

**臭い:** なし

**pH:** 2.5 – 6.5

**蒸気圧:** N/D (未決定)

**蒸気密度:** N/D (未決定)

**沸点:** N/D (未決定)

**凝固点:** N/D (未決定)

**水への溶解度:** 溶解

**比重/密度:** 8.69

## ユリン レスキュー B114

### セクション 10: 安定性及び反応性

**化学的安定性:**通常状況下での使用では、安定

**避けたい状況:**熱/熱源; 熱源; 汚染

**避けたい物質:**酸; 塩基; 金属; 金属塩; 還元剤; 有機物; 可燃性材料

**有害分解物質:**火にこの製品をさらすと、この製品や容器から二酸化炭素、一酸化炭素、水、その他未確認の熱分解物が発生する危険があります。

**危険重合物質:**発生しない

### セクション 11: 有害性に関するデータ

**急性的な過度接触の影響:**

**全般に:**粘膜、目、皮膚に対して腐食性。傷害の深刻さと中毒の兆候は、暴露の濃度と期間に直接影響する。

**目に入った場合:**激しい炎症、涙目、充血、まぶたの腫れを起こします。深刻または恒久的な目の障害の可能性があります。

**皮膚に触れた場合:**接触した部分に炎症が起き一時的に白くなる事があります。火傷の危険があります。

**吸引した場合:**鼻と喉に炎症が起き、咳き込みます。

**誤飲した場合:**顔面は青ざめチアノーゼを起こします。ショックを伴い、激しい炎症、胃腸の火傷と胃壁に穴が開く危険があります。口や鼻から多量に液が混入した場合は、窒息の可能性、喉の膨張、胃の膨張、げっぷ、悪心、出血性嘔吐、咳き込み、製品を吸引したことからケミカル肺炎の危険があります。

**慢性的な過度接触の影響:**

**暴露の限界:**混合に対して N/D (未決定)

**催奇形性:**なし

**生殖毒性:**なし

**製品に対する感作性:**なし

**突然変異誘発性:**なし

**発癌性:**なし

### セクション 12: 生態学的情報

セクション 6 事故時の廃棄処分方法とセクション 15 規制情報を参照してください。

### セクション 13: 廃棄に関する考慮

地域の規制に従って廃棄処分してください。

### セクション 14: 輸送に関する情報

DOT または他の輸送危険分類による船荷証券、コンテナ ラベルに従うこと。49CFR 項目 100-185 に従って輸送すること。

## ユリン レスキュー B114

### セクション 15: 規制情報

成分 / (CAS/PERC) / CODES

-----  
過酸化水素、過酸化水素を 40%超えず、20%以下でない水成溶剤（必要に応じて安定化）  
(7722841 n/a%) EHS302, MASS, NJHS, OSHAPSM, OSHAWAC, PA, TXAIR

規制キーワードの説明：

---

EHS302 = Extremely Hazardous Substance

MASS = Massachusetts Hazardous Substances List

NJHS = NJ Right-to-Know Hazardous Substances

OSHAPSM = OSHA Chemical Requiring process safety management

OSHAWAC = OSHA Workplace Air Contaminants

PA = PA Right-To-Know List of Hazardous Substances

TXAIR = TX Air Contaminants with Health Effects Screening Level

### セクション 16: 他の情報

この書類は、29 CFR 1910,1200 に従う様に用意されたものです。このセクションの目的は、全てのケミカル製品または輸入製品の危険性が評価されているか確認し、その危険性に関する情報が、経営者及び従業員に伝わっているか確認する事にあります。

ここに現れている全ての情報は、原材料メーカー、あるいは認められた技術ソースによるものです。これらの情報は、正しく正確と信じられているものですが、作者はその正確性と完璧性を保証するものではありません。使用の条件はプロケムのコントロールを越えるものです。したがって使用者は、使用者の特定な条件、用途、規制の下で、使用者の特定な目的にこの製品が合うかこのデータを確認する責任があります。使用者は、製品の使用、ハンドリング、廃棄、この情報の使用、公表、等にかかる全ての危険を負うものでなければなりません。この情報は、当製品についての通常の手配を対象としたもので、他の材料、商品、ケミカル、コンパウンド、プロセスとの混合に使用されるものではありません。

作成者： プロケム EHS(環境健康安全)マネージャー

電話番号：(480)899-7000

以上